

平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	永井 毅
		全体計画				経費区分		-		内線	3 6 2 5
事務事業名	4324 生涯スポーツ事業										
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04022100 スポーツ活動の充実										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費									
	事業	020000 生涯スポーツ事業									
事業目的						事業概要・効果					
市民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図る。						地域別スポーツ教室の開催や学校開放、各種大会・行事を主催し、各種スポーツの普及発展と市民の交流、健康増進・相互の親睦、生涯スポーツを推進する。					

PLAN-DO 年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
市民スポーツ教室の開催 参加延人員 1,715人 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル 参加者計 416人 竜の里須坂健康マラソン全国大会 参加者 2,883人	地域別スポーツ教室の開催 参加延人員 282人 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル 参加者計 150人 竜の里須坂健康マラソン全国大会 参加者 2,721人 県安心子ども基金を活用し、講演会等実施 1,629人
平成24年度 実績	平成25年度 実績
地域別スポーツ教室の開催 参加延人員 520人 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル 参加者計 555人 竜の里須坂健康マラソン全国大会 参加者 2,725人	地域別スポーツ教室の開催 参加延人員 231人 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル 参加者計 730人 竜の里須坂健康マラソン全国大会 参加者 2,959人
平成26年度 予定	平成27年度 予定
地域別スポーツ教室の開催 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバルの開催 市制施行60周年記念竜の里須坂健康マラソン全国大会の開催	

指標名	地域別スポーツ教室				
算式	600				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	500	520	540	560
	実績	282	520	231	600
指標選定の理由	地域別にニュースポーツ教室を開催し、気軽にスポーツに親しみ、健康増進につなげる。				
最終年度目標の根拠	平成21年度実績値の約25%増				
指標名	竜の里須坂健康マラソン				
算式	3,200				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	3,000	3,000	3,000	3,100
	実績	2,721	2,725	2,959	3,200
指標選定の理由	日頃から健康増進のためウォーキングをしている市民、ランニングをしている市民の増加につながる				
最終年度目標の根拠	平成21年実績値約1割増				
指標名	スポーツリーダーバンク				
算式	50				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	45	45	46	48
	実績	38	42	42	50
指標選定の理由	地域のスポーツ推進のリーダー・指導者の確保、育成				
最終年度目標の根拠	ニュースポーツや各種大会等への指導者派遣要請に応えられる人数				

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		24,343	33,054
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	3,428	800
一般財源		20,915	32,254
人員数(人)	正規職員	2.6	2.6
	嘱託職員	1.0	0.9
	臨時職員	0.5	0.2
人員コスト	正規職員	17,830.8	17,830.8
	嘱託職員	2,725.0	2,452.5
	臨時職員	588.5	235.4
	計	21,144.3	20,518.7
市民一人当たりの経費		0.9	1.0
総額		45,487.3	53,572.7

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,453	大会等指導者謝礼、全国大会参加者激励金
11節 需用費	940	大会・行事等消耗品など
13節 委託費	1,741	海の家委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	19,942	須高行政事務組合教育費負担金(プール)、竜の里須坂健康マラソン全国大会負担金など
その他	267	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,930	大会等指導者謝礼、全国大会参加者激励金
11節 需用費	1,244	大会・行事等消耗品など
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	28,431	須高行政事務組合教育費負担金（プール）、竜の里須坂健康マラソン全国大会負担金など
その他	449	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図るため、ニュースポーツの普及、各種大会等を主催する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市民の健康増進・体力増進を図るため、スポーツの機会の提供、指導者の派遣などを実施。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	市民ボランティア、各種団体等の協力を得て、大会運営に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

竜の里マラソン参加者は過去最高となり、ニュースポーツフェスティバルの参加者も親子の参加が増え、増加した。地域ごとの開催となっている地域別スポーツ教室の参加者が減少し、各町公民分館等の連携が課題。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

スポーツ推進計画に基づき市民の健康づくりや生涯スポーツを推進する必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
-----------	------------

2次評価コメント

スポーツ推進計画の目標を具体化するため、各々の施策を実行する必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--